

第99回 薬剤師国家試験問題検討委員会「法規・制度・倫理」部会報告書

日時 平成26年5月10日(土) 13:00~16:30

平成26年6月3日

場所 千葉科学大学薬学部

出席者

私立大学	54校	62名
国公立大学	11校	12名
計	65校	74名

委員長名	中村 武夫
所属大学名	近畿大学

1. 総合評価

前回、前々回に比べると難易度が高くなったように感じられるが、今回の出題については、薬剤師本来の職能を意識した問題が多く出題されており、薬剤師としての資質を問う国家試験としては概ね妥当であったと評価される。必須問題は基礎的な内容が出題されており、難易度も妥当であった。薬学理論問題は例年より細部にまで踏み込んだ問題がいくつかあるが、概ね妥当な出題であった。薬学実践問題は、実務問題との複合性が改善されていると感じられる一方で、「法規・制度・倫理」と「実務」分野いずれにおいても出題可能なものも散見される。

2. 各項目の評価

1)「誤りがあると判断された問題」

なし

2)「問題の観点から不適切である問題」

必須 問79 薬剤師と患者との初回面談における質問に関する出題は、実務領域の問題であるとの意見が多かった。ただ出題基準においては、法規・制度・倫理のヒューマニズム【大項目】の対人業務【中項目】におけるコミュニケーション【小項目】に該当はしている。

実践 問323 「薬剤師の行動」との記載からは実務領域の問題であるとの意見が多かった。しかし、処方せんチェックに基づく疑義照会という薬剤師法の観点からは、法規・制度・倫理領域からの出題と解することもできる。

3)「問題・選択肢の表現が不適切である問題」

必須 問73 選択肢2の「原則として200床以上の病床」という表現では、ある病床に備えてあるベッド数が200以上、とも読めるとの指摘があった。「原則として病床数が200床以上であること」と表現にするほうがよいのではないか。

必須 問76 後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン他では、「内用」ではなく「経口または非経口」の用語使用である。「内用固形製剤」は、「経口固形製剤」とすべきである。

理論 問146 選択肢4の「シアン化合物」は、毒劇法施行令第42条に準じて「無機シアン化合物」と表現すべきである。

理論 問150 選択肢4の記載は、医師主導治験に限って適用されるものであるので、「医師主導の治験においては、医療機関の長は・・・」とすべきである。

実践 問311 選択肢1のように定義を問うような問題はできるだけ条文通りの表現にすべきである。「厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて指定するもの」という文言がないと正しい表現にならない。

4)「複合性が不適切な問題」

実践 問313 問312（実務）で「一般用医薬品で対応が可能」としながら、問313（法規・制度・倫理）では「一般用医薬品で対応できない」と記されており、整合性のないものとなっている。

実践 問319 設問シナリオの冒頭に「医薬分業の進展とともに、」という語句がなければ全く関連のない出題である。

5)「授業で触れていない問題」

必須 問77 薬事衛生統計に関する内容については教えていないとの回答が多かったが、過去問の学習で対応できると思われる。

必須 問79 コミュニケーションに関する内容については、実務関連ということもあり、教えていないとの回答が多かった。法規関連の講義担当者が教えていなくても、他の科目等で教えていると思われる。

複合 問317 薬剤師の行う居宅療養管理指導に関する内容については、法規関連の授業では触れていないとの回答が多かった。

その他特記事項

本分野、特に法規に関しては、薬事衛生六法の内容を根拠に講義が行われており、局長通知の内容まで講義に反映できない。また法改正の内容については公布、施行後から国家試験出題までの経過期間を明示していただきたい。

3. 各問題の評価

別紙1のとおり

別紙1 第99回薬剤師国家試験問題「法規・制度・倫理」部会 評価表

	番号	誤り			適切性			表現			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
必須問題	71	0	63	0	0	63	0	0	63	0	3	60
	72	0	63	0	1	61	1	0	61	2	3	60
	73	0	63	0	0	61	2	1	61	1	5	58
	74	0	62	0	0	62	0	0	62	0	3	59
	75	0	62	0	0	61	1	0	61	1	1	61
	76	1	60	1	2	57	3	1	58	3	5	57
	77	0	62	0	2	49	11	1	57	4	15	47
	78	1	61	0	1	57	4	0	59	3	6	56
	79	0	59	3	6	48	8	4	51	7	10	52
	80	0	61	1	0	60	2	1	60	1	4	58
一般問題 (薬学理論問題)	141	0	62	0	0	62	0	2	59	1	1	61
	142	0	62	0	0	59	3	1	61	0	7	55
	143	0	62	0	2	57	3	0	61	1	6	56
	144	0	61	1	0	56	6	0	58	4	9	53
	145	0	62	0	5	55	2	1	59	2	7	55
	146	0	62	0	0	62	0	1	60	1	2	60
	147	0	62	0	1	61	0	0	62	0	2	60
	148	0	60	2	0	60	2	1	56	5	0	62
	149	0	60	2	1	60	1	0	60	2	4	58
	150	1	57	4	2	56	4	4	55	3	8	54

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
一般問題 (薬学実践問題)	307	0	61	1	0	61	1	1	59	2	3	55	4	2	60
	309	0	62	0	2	60	0	0	62	0	0	61	1	2	60
	311	0	62	0	3	58	1	5	56	1	2	53	7	10	52
	313	0	62	0	0	61	1	1	58	3	1	57	4	2	60
	315	1	60	1	1	61	0	5	55	2	0	58	4	1	61
	317	0	61	1	2	56	4	2	56	4	1	55	6	14	48
	319	0	61	1	0	60	2	3	57	2	3	50	9	4	58
	321	0	62	0	1	59	2	2	59	1	0	59	3	3	59
	323	1	61	0	1	59	2	0	62	0	1	55	6	6	56
	325	0	59	3	1	57	4	2	57	3	2	54	6	10	52

(注)無回答:「わからない(判断できない)」を表す。また、数字は回答大学数である。